

# 関西医科大学 広報



生誕の地に、新たな息吹きが、今

Vol.39

## CONTENTS

法人： 牧野講堂（武道館）新築工事起工式	P.1
大学： 医学部オープンキャンパス	P.5
大学： 7大学連携個別化がん医療実践者養成プラン調印式	P.8

病院： 臨床検査体験セミナー・オープンラボ開催	P.12
病院： 総合医療センター病院機能評価認定	P.14
看護専門学校： 球技大会・学校祭	P.15

## 関西医科大学牧野講堂（武道館）新築工事起工式挙行

9月19日(火)午前10時30分から、牧野キャンパスにおいて、関西医科大学牧野講堂(武道館)新築工事起工式が挙行されました。山下敏夫理事長、友田幸一学長をはじめ本学教職員、施工者の株式会社熊谷組岡市光司執行役員・関西支店長ほか20名が列席。



玉串奉奠をする山下理事長

神官の祝詞奏上に続き、施主の山下理事長、設計・施工の代表者による地鎮之儀、玉串奉奠が行われ、工事の無事を祈りました。牧野講堂(武道館)建設は、大学創立90周年記念事業の一環として行われるもので、平成30年4月の竣工を目指しています。



関西医科大学牧野講堂(武道館)完成予想図(内観)

## 内科学第一講座呼吸器内科担当診療教授に就任して

内科学学第一講座呼吸器内科担当診療教授 石浦 嘉久



本年9月1日付けで、内科学第一講座呼吸器内科(総合医療センター)担当診療教授を拝命しました。伝統ある関西医科大学にご推挙いただきました関係の方々に厚く御礼申し上げるとともに、責任の重大さを痛感しております。

私は富山県黒部市の自然豊かな地に生まれ育ちました。鳥取大学医学部を卒業後、金沢大学で血液内科と呼吸器内科を主に担当する第三内科の大学院生として呼吸器疾患の臨床について深くたずさわる機会をいただきました。大学院での研究テーマは「気道における好酸球の生体内役割」であり、アレルギー疾患における好酸球が常に悪玉として機能するわけではなく条件によっては生体保護的に作用することを基礎的に解明してきました。その後市中病院においてもアレルギー性気道疾患を含む難治性の咳嗽や難治性気管支喘息に対する治療を中心として臨床研究を行ってきました。先の東北の震災では医療支援にも参加し、亜急性期(災害発生から4日~3週間)

の避難所ではアレルギー性疾患や呼吸器疾患への対応が重要であることも明らかにしています。近年における生活様式の変化や高齢化に伴い、アレルギー疾患、肺癌、肺炎などの呼吸器領域に関連する疾患は増加の一途をたどっています。数多くの方々に適切かつ効率の良い診療を提供するためにはプライマリケアの先生がたとの連携が不可欠です。患者さんと喜びが分かち合える時間が少しでも長くなるようスタッフ一同日々努力して参る所存ですのでご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

### 略 歴

平成元年3月	鳥取大学医学部卒業
平成9年3月	金沢大学大学院医学系研究科内科学第三修了
平成9年4月	金沢大学医学部内科学第三助手
平成11年4月	富山赤十字病院呼吸器内科副部長
平成12年4月	市立輪島病院内科主任医長
平成14年4月	富山市民病院呼吸器内科医長
平成17年4月	同 呼吸器内科医長兼腫瘍内科部長
平成26年4月	同 呼吸器内科部長兼腫瘍内科部長
平成29年4月	同 救急診療部主任部長兼呼吸器内科部長兼腫瘍内科部長
平成29年9月	関西医科大学内科学第一講座呼吸器内科担当診療教授

## 関西医科大学創立90周年記念事業募金のご案内

本学では「創立90周年記念事業募金委員会」を立ち上げ、現在、募金活動を鋭意推進中です。本学の未来のため、学生の学びのために、皆様のご協力をお願い申し上げます。

### 【募集要項】

#### 1. 募集対象

同窓会会員、本学学生の保護者、教職員、本学関連の個人および法人  
 なお、同窓会会員には牧野講堂(武道館)建設募金といたします。

#### 2. 募集金額

1口10万円、申込口数1口以上。  
 多数口のご協力をお願い申し上げます。1口未満もありがたくお受けいたします。

#### 3. 募集時期・期間

- 第1期募集(平成29年度)
  - 申込期間 平成29年4月5日～平成30年3月31日
  - 払込期間 平成29年4月5日～平成30年3月31日
- 第2期募集(平成30年度)
  - 申込期間 平成30年4月5日～平成31年3月31日
  - 払込期間 平成30年4月5日～平成31年3月31日

#### 4. 申込方法

寄付申込書に所定事項をご記入ご捺印のうえ、返信用封筒にてお申し込みください。

寄付申込書は下記の3種類をご用意しておりますので、いずれかをご提出ください。

- ・個人の場合：特定公益増進法人申込書(個人用)
- ・法人の場合：受配者指定寄付金申込書  
 特定公益増進法人申込書(法人用)

#### 5. 払込方法

一括払込と分割払込の2種類があります。

#### 6. お問い合わせ先

関西医科大学法人事務局募金室  
 〒573-1010 大阪府枚方市新町二丁目5番1号  
 TEL：072-804-2146 FAX：072-804-2344  
 メール：bokin@hirakata.kmu.ac.jp  
 URL：http://www.kmu.ac.jp/bokin/index.html  
 ご不明な点は募金室までお問い合わせください。  
 なお、この募金の応募は任意です。

創立90周年記念事業募金として平成29年7月1日から平成29年9月30日までにご寄付いただきました方々のご芳名を掲載させていただきます。ご芳志に対して衷心より感謝申し上げます。なお、募集当初から平成29年9月30日までの寄付金累計額は7,876万1,460円です。

ご芳名のwebサイトでの掲載は控えさせていただきます。

## 個人からの寄付金減税措置のご案内

平成29年1月1日から平成29年12月31日までにご寄付をいただきますと、平成29年分の確定申告の際に手続きを行うことで税の還付が受けられます。

### 【所得税】(どちらか一方の制度を選択)

#### (A) 所得控除 (「寄附金控除」)

寄付金額から2千円を差引いた金額を所得金額から控除できます。

所得控除を行なった後に税率を掛けるため、所得税率が高い高所得者の方に減税効果が高くなります。

※寄付金額は総所得金額等の40%が限度

#### (B) 税額控除 (「公益社団法人等寄附金特別控除」)

寄付金額から2千円を引いた額の40%が税額控除の対象額となります。

税率に関係なく、税額から直接控除するため、小口の寄付に減税効果が高くなります。

※寄付金額は総所得金額等の40%が限度 税額控除額は所得税額の25%が限度

### 【個人住民税】

お住まいの市町村の条例により個人住民税において寄付金税額控除の対象となることがあります。詳しくはお住まいの市町村の住民税担当課にお問い合わせください。

ご寄付をいただいた方(個人)には、平成30年1月頃に本学募金室から詳しいご案内を郵送いたします。

※法人のご寄付の場合は、受配者指定寄付金制度を利用することで寄付金全額が損金算入されます

**最大で約40%が減税されます!**

## 平成30年度入職予定者内定式挙行

10月2日(月)午前11時から枚方学舎4階中会議室において、澤田敏常務理事が列席して「平成30年度入職予定者(事務員)内定式」が挙行されました。この日は平成30年度入職予定の事務員内定者5名が出席。澤田常務理事は、「上司や先輩職員のように活躍できる“人材”に成長して欲しい」と挨拶した後、内定証書を内定者一人ひとりに手渡しました。また、内定者は自己紹介を兼ねて入職後の決意を表明。未来に向けての思いを語りました。

内定式終了後は、本学と医療業界に関するオリエンテーションを経て、同4階カフェテリアにおいて内定者懇親会が開催。入職1年目の先輩職員も出席し、多めに盛り上がりました。



内定証書を手渡す澤田常務理事(中央)と、受け取る内定者

## 新任係長研修

8月22日(火)および23日(水)の二日間にわたって枚方学舎4階中会議室において「新任係長研修」が開催され、対象の看護師や薬剤師、事務員ら14名が参加しました。これは本学で行っている階層別研修の一つで、係長としてより高いレベルの業務遂行能力を身につけるために実施されているもの。本学の財務状況やCSR(企業の社会的責任)、労務管理、事業環境分析などに関する講義と、モデルケースを用いたグループワークなどを通して、課題解決力や事業の推進力、人材育成能力の養成を中心に理解を深めました。



グループワークの様子

## 新任管理職研修

9月8日(金)および9日(土)、枚方学舎4階カンファレンスルームDにおいて「新任管理職研修」が実施され、今年度新たに管理職となった職員14名が参加しました。講義、グループワークを通じて、管理職の役割、財務・コンプライアンス・労務管理・リーダーシップ・組織風土などのマネジメントの基礎について、知識を深めました。

## 看護学部・看護学研究科認可について

平成30年4月開設予定の本学看護学部・大学院看護学研究科について、文部科学省に提出していた設置認可申請書が認可されました。



## 今号掲載期間の主な出来事をご紹介します (記事掲載はオレンジ太字)

法人	8月22日・23日	新任係長研修	
	9月8日・9日	新任管理職研修	
	9月19日	牧野講堂(武道館)新築工事起工式	
	10月2日	事務職内定式	
	7月8日	医学教育ワークショップ	
大学	7月18日	「国外臨床実習の成果」報告会	
	7月22日	健康沿線トークカフェ	
	7月30日・8月5日	医学部オープンキャンパス	
	8月5日・9月3日	看護学部オープンキャンパス	
	8月21日	国外臨床実習説明会	
	8月21日	クリニカル・クラークシップ中間検討会	
	8月24日	AJACS河内講習会	
	8月31日	学長賞授与式	
	9月9日・10日	研究医養成コースコンソーシアム合宿	
	9月12日	学生からの教育評価に基づく教員の表彰式	
	9月13日	科研費公募要領等説明会	
	9月15日	チュービンゲン大学留学生来学	
	9月19日	7大学連携個別化がん医療実践者養成プラン調印式	
	9月20日	解剖体慰霊碑供養	
	9月22日	認知症サポーター養成講座	
9月23-29日	看護サービス人材育成プロジェクト運営指導調査		
9月26日	大学院学位記授与式		
7月1日	がん治療と職業生活の両立支援セミナー		
7月15日	2017サマーコンサート		
7月28日	看護部一日看護体験		
附属病院	7月29日	災害訓練	
	8月19日	臨床検査体験セミナー・オープンラボ	
	8月23日	子ども病棟夏祭り	
	9月16日	市民公開講座	
	9月16日	EPA研修	
総合医療センター	7月29日	災害訓練	
10月1日	Take! ABI 2017 in KANSAI		
香里病院	7月1日	七夕コンサート	
附属看護専門学校	7月30日・8月5日・6日	オープンキャンパス	
	9月22日・9月30日	球技大会・学校祭	
卒後臨床研修センター	7月2日	レジナビフェア2017in大阪出展	
	7月21日・8月4日	平成30年度初期臨床研修医採用試験(第1回・第2回)	

看護学部オープンキャンパス

研究医養成コースコンソーシアム合宿

チュービンゲン大学留学生来学

認知症サポーター養成講座

災害訓練(総合医療センター)

## 平成29年度医学部オープンキャンパス開催

7月30日(日)、8月5日(土)いずれも午前11時から枚方学舎において、平成29年度医学部オープンキャンパスが開催されました。

多数の参加者が集まった加多乃講堂でのレクチャー・入試概要説明では、来年創立90周年を迎える本学の歴史や学習環境、カリキュラムの概要が説明されました。

2日間で延べ788名が訪れ、本学についての理解を深めました。

### 主なプログラム

#### ●キャンパス見学

参加者が10名程度のグループに分かれ、在学生の引率で図書館や講義室などを見学しました。

#### ●在学生トークイベント

昨年度好評を博した企画を今年も実施。在学生在が受験勉強・学生生活について紹介しました。学生の“生の声”を聞くことのできる機会とあってたくさんの聴衆が集まりました。

#### ●模擬講義

7月30日(日)は微生物学講座藤澤順一教授が「感染症とがん」、8月5日(土)は眼科学講座高橋寛二教授が「眼科学オーバービュー」をテーマに、それぞれ30分程度の講義を行いました。



加多乃講堂でのレクチャー

#### ●シミュレータ・BLS体験コーナー

シミュレーションセンターでは、本学で実際に使用されているシミュレータを用いた、BLS(一次救命処置)体験などが行われました。



シミュレーションセンターでの様子

#### ●研究内容紹介パネル展示

パネル展示に加え、本学と企業との産学連携で開発された「骨伝導集音器」を体験できるコーナーが設けられました。

#### ●病院見学

附属病院において、健康科学センターや手術室、ドクターカーなどの各種施設・設備を見学しました。

## 平成30年度 看護学部入学試験概要

### 【一般入学試験】

募集人員	100名	
出願期間	平成29年12月11日(月)～平成30年1月16日(火)必着	
試験日	平成30年1月26日(金)	
試験科目・配点	必須科目	英語(コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、英語表現Ⅰ・Ⅱ)、国語(古文・漢文除く)
	選択科目(1科目)	数学Ⅰ・A、生物基礎・生物、化学基礎・化学
	配点	各100点
試験会場	インテックス大阪(大阪府大阪市)	
合格発表日	平成30年2月1日(木)	

※詳細は平成30年度看護学部学生募集要項をご確認ください。

## 関西5医科大学合同 研究医養成コースコンソーシアム合宿

9月9日(土)・10日(日)の2日間、ホテルコスモスクエア国際交流センター(大阪市住之江区)において「研究医養成コースコンソーシアム合宿」が1泊2日で開催されました。今年度から神戸大学医学部が連携校に加わり、5大学の学生・教職員合わせて62名が参加しました。

この合宿は今年で5回目となりましたが、今回初めて各大学の参加学生によるポスターセッションを実施し、大学、学年を越えて、活発な意見交換が行われました。2日目には、「留学することの意義」をテーマとしたグループでのワークショップなどのプログラムを実施。学生の研究レベルも高まりを見せており、刺激のある二日間となりました。



ポスターセッションの様子

## 学生からの教育評価に基づく教員の表彰式

9月12日(火)午後3時40分から枚方学舎4階中会議室において「平成28年度学生からの教育評価に基づく教員の表彰式」が行われました。これは本学教員の教育活動を奨励し、その資質の向上を図ることを目的とするもの。学生による授業評価アンケートの結果に基づき高い評価を得た教員もしくは科目を「関西医科大学教育奨励賞」として表彰しています。この日の表彰式では、平成28年度表彰の対象となった教員に友田幸一学長から表彰状が手渡されました。



友田学長から表彰状を受け取る受賞者

### 受賞者 受賞科目一覧

#### ▶ 教育奨励賞

##### ● 1・2・3学年

##### 教養・基礎社会系科目部門

1位	薬理学 (3学年)
2位	法医学 (3学年)
3位	医学英語Ⅲ (3学年)

##### 教員部門

1位	松田 達志 准教授 (免疫学)
2位	北川 香織 助教 (薬理学)
3位	三島 伸介 助教 (医動物学)
4位	林 美樹夫 講師 (生理学1)
5位	加瀬 政彦 講師 (解剖学2)

##### ● 3・4学年

##### 臓器別系統別コース部門

1位	小児の成長・発達コース (3学年)
2位	精神・行動コース (3学年)
3位	感染症コース (3学年)

##### ● 5学年

##### 臨床実習科目部門

1位	病態検査学
2位	皮膚科学
3位	精神神経科学

※講座名および職位は平成28年度当時

## 解剖体慰霊碑供養挙行

9月20日(水)午前11時から臨済宗建仁寺派大本山建仁寺の塔頭正伝永源院において、友田幸一学長、山下敏夫理事長はじめ本学関係者が参列し、平成29年度解剖体慰霊碑供養が営まれました。これは、自らの遺志と無条件・無報酬の篤志をもって、医学の発展のために身体を提供された御霊を供養する儀式です。僧侶による読経の声が響く中、参列者は感謝と哀悼の意を込めてご冥福をお祈りしました。



慰霊碑の前で読経を捧げるご住職と参列者

## 国外臨床実習成果報告会

7月18日(火)午後5時50分から、枚方学舎加多乃講堂において「国外臨床実習成果報告会」が開催されました。

本学の国外臨床実習は、希望者の中から選考された6学年学生が協定先国外施設において、実習を行うもの。今年は学生の中から選抜された12名が、グラスゴー大学(イギリス)、チュービンゲン大学、レバークーゼン総合病院(以上ドイツ)、カリフォルニア大学サンフランシスコ校、バーモント大学(以上アメリカ)、マレーシア国立循環器病センター(マレーシア)、トロント小児病院(カナダ)の7施設で実習を行いました。

国際交流センター鈴鹿有子センター長の司会の下、野村昌作副学長・教務部長が挨拶。続いて国外臨床実習を行った学生が、それぞれ訪れた街の様子、臨床実習スケジュール、日本との医療制度の違い、休日の過ごし方などについて、英語で報告しました。

発表後の質疑応答では来年国外臨床実習を目指す学生

から、実習中に受けた質問や最近の治安情勢に関する質問があり、活発な議論が行われました。最後に国際交流センター岩井大副センター長が挨拶し、閉会しました。



参加者からの質問に答える国外臨床実習実習生

## 本学学生の海外研修体験記事が掲載されました

本学3学年の日野眞臣さんが平成28年10月9日(日)から10日(月・祝)にかけて参加した、慶熙大学における韓医学研修の紀行文が『Lattice Vol.5 海を越える医療人たち』(平成29年4月ワイエムエス教育企画株式会社発行)に掲載されました。

記事中では、韓国で初めて韓医科大学を開設した慶熙大学での韓医学のレクチャー受講や英語でのプレゼンテーション実施、慶熙大学附属韓方病院での、本場の東洋医学治療見学の経験などが綴られています。

### ◎日野さんコメント

慶熙大学の附属病院は、東洋医学と西洋医学の病院が併設されておりとても珍しい病院です。東洋医学の診察は自体は西洋医学と大差はありません。しかし、治療には針を頻繁に使用しており、治療が西洋医学とは異なっていると実感しました。

## 「7大学連携個別化がん医療実践者養成プラン」始動

9月19日(火)午後6時からスイスホテル南海大阪(大阪市中央区)において、「7大学連携個別化がん医療実践者養成プラン」第1回プロジェクト統括会議が、午後7時から協定書調印式が行われました。「7大学連携個別化がん医療実践者養成プラン」は、近畿大学を主幹とした阪神地区の国公立7大学の医学・看護学・薬学・理工学系大学院研究科が相互に連携して、多様化する新ニーズに対応した個別化医療を実践できるがん専門医療人の養成を目的としたもの。

この日は、本学から友田幸一学長、野村昌作副学長(内科学第一講座教授)、主幹の近畿大学から塩崎均学長、伊木雅之医学部長ほか、各大学の統括会議委員や運営推

進委員らが出席。プロジェクト統括会議では、プランの概要や今後の活動について討論しました。



調印式の記者会見で発言する友田学長

## 「 Bangladesh 国看護サービス人材育成プロジェクト」で片田教授が現地視察

平成29年9月22日(金)～29日(金)にかけて、看護学部設置準備室片田範子教授(看護学部学部長および看護学研究科研究科長予定者)が、独立行政法人国際協力機構(JICA)調査団「看護サービス人材育成プロジェクト運営指導調査」の一員として、Bangladesh 人民共和国に派遣されました。

同国では公的医療サービスの質の低さが深刻で、看護師を含む保健医療人材の不足が課題となっています。それと同時に女性の地位向上も大きな課題です。そこで看護師の人材確保とレベルアップのために、看護教育の質の向上・環境の改善を図ることを目標に、このプロジェクトが実施されています。

今回の調査では、現地の医療機関や看護学校などの視察、現地の看護師、看護学生や教師との面談が行われました。

## シミュレーションセンター拡充

8月30日(水)、枚方学舎3階のシミュレーションセンターをリニューアルオープン。これにより床面積は従来よりも53.9㎡広く345.23㎡に拡充しました。

本学は模擬体験型の医学教育のため、これまででも毎年のように新たなシミュレーション機器を導入してきましたが、利用件数は右肩上がり増加。昨年度は2,000件・15,000名を超える利用がありました。ただ、機器の拡充を重ねたことで将来的な発展余地が少なくなってきたこと、来年度の看護学部・看護学研究科開設に伴いさらなる利用増加が見込まれることから、拡充にいたりました。

今後もさらなる機器の増強・導入を進める予定です。



拡充されたシミュレーションセンター

## THE 世界大学ランキングに本学がランクイン

9月5日(火)、英国の教育専門誌「タイムズ・ハイアー・エデュケーション(THE)」が実施・集計した世界大学ランキングが発表され、本学は総合ランキングにおいて『801-1000』位グループにランクインしました。

なお、本学は2017年3月に発表されたTHE 大学ランキング日本版でも『141-150』位グループにランクインしています。当ランキングの詳細については タイムズ・ハイアー・エデュケーション(THE)のホームページ(<https://www.timeshighereducation.com>)をご覧ください。

## AJACS河内講習会

8月24日(木)午前10時から、枚方学舎1階第1講義室において統合データベース講習会「AJACS河内」が開催され、基礎系・臨床系の研究者らが参加しました。これは、生命科学研究のデータを横断的に蓄積し、データベース化することで、画期的な研究成果の創出することを目的に、国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)が行っている啓蒙活動の一環として開催されるもの。

冒頭友田幸一学長の挨拶に続き、JSTバイオサイエンスデータベースセンター(NBDC)箕輪真理客員研究員が「NBDCの紹介とNBDCの提供するサービス」を、九州大学生体防御医学研究所附属生体多階層システム研究センター山西芳裕准教授が「パスウェイデータベースの紹介と疾患研究への応用」を、大学共同利用機関法人情報・システム研究機構ライフサイエンス統合データベースセンター坊農秀雅特任准教授が「遺伝子発現DBを

含む公共オミックスDBの使い方」を、同仲里猛留特任研究員が「次世代シーケンサー(NGS)データ活用の基礎」を、NBDC榎田達矢研究員が「Cytoscapeを使ったデータの可視化と解析」を、それぞれ解説・講演しました。



データベースの操作方法を体験する受講者

## 第35回医学教育ワークショップ

7月8日(土)午前10時から枚方学舎加多乃講堂、2階学生セミナー室、および各会議室において「第35回医学教育ワークショップ」が開催され、教職員48名、学



グループ討議の様子

生10名の計58名が参加しました。今年のテーマは『関西医大における学生の学びを再考する』とし、サブテーマとして「関西医大におけるプロフェッショナルリズム教育とは?」「学生のモチベーションを高める教育とは?」を掲げ、学生のモチベーションを高め、医師としてのプロフェッショナルリズムを育むための教育について再考し、学生の学習意欲を向上させる取り組みについて、討議しました。

グループ討議内容の発表や事後アンケートでは有意義な意見が多数挙げられ、今後の医学教育に生かされていく予定です。

## 第9回健康沿線トークカフェを開催

7月22日(土)午後3時から枚方学舎4階中会議室において、関係者37名が参加し「第9回健康沿線トークカフェ『食と健康～お肉をたべて、フレイル予防!～』」が開催されました。健康沿線トークカフェは、産・学・官・民が相互に連携し京阪沿線住民の健康増進ならびに京阪沿線企業の活性化を図ることを目的とした情報交換や、研究開発プラットフォーム形成の場として本学が始めた取り組みです。

公衆衛生学講座西山利正教授の挨拶の後、中日本フード株式会社経営戦略室増田俊介室長が「日本ハムグループの安全・安心高品質な食肉について」、関西大学化学生命工学部食品化学研究室細見亮太准教授が「たんぱく質の栄養—消化・吸収・同化・異化—」、株式会社いわさき営業本部特販課池田紀美子フードモデル開発主任が

「食品サンプルの世界」、附属病院リハビリテーション科長谷公隆診療教授が「Muscle wasting とリハビリテーション」をそれぞれ講演し、活発な意見交換が行われました。



講演する長谷診療教授

## 若手研究者特集

様々な研究活動とその成果が学内外から表彰され、躍動する本学の若手研究者たち。その活躍の一端をご紹介します。

※記事企画時点で40歳以下で、一定の研究成果を持つ研究者の先生方にインタビューする連載企画です。

### 細胞内でのタンパク質の機能を一分子レベルで解明

#### —先生の研究テーマについて教えてください。

タンパク質は体内で最も多く含まれる生体高分子であり、代謝反応・組織構築・免疫反応等、多彩な生命機能を担っています。私は細胞接着や小胞輸送に関与するタンパク質群が、細胞内でどのような作動原理で協奏的に機能しているかを分子レベルで解明しようとしています。なかでも、細胞接着を担う接着分子「LFA-1」の構造変化・多量体化・細胞内輸送過程の細胞内因子群による制御機構に注目しています。

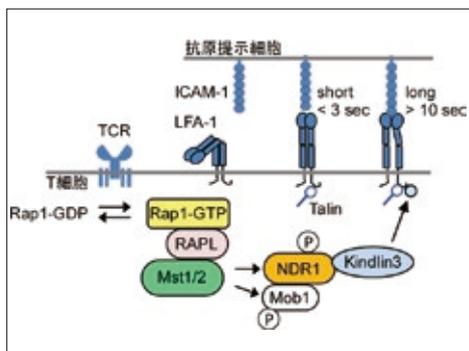
「LFA-1」のリガンド<sup>※1</sup>である「ICAM-1」を一分子レベルで可視化する実験系を構築し、LFA-1/ICAM-1相互作用の一分子結合過程をリアルタイムで追うことに成功した研究は2015年の科研費若手研究(B)に採択されました。また、この実験系を用いて、野生型リンパ球と、LFA-1活性化に関与する細胞内制御因子の欠損リンパ球を比較したところ、主に3種類存在するLFA-1のコンフォメーション<sup>※2</sup>のうち、リガンドとの長期結合を担うコンフォメーションの

形成に、Rap1シグナル経路下流で働く特定の因子群が関与していることを解明しました。

#### —後輩研究者にメッセージを。

研究者は膨大な知識の習得や忍耐力のみならず、運の要素に左右されることもあり大変ですが、どんな環境であってもそこから学ぼうとする意志と自身のオリジナリティを育むことを忘れないようにすれば、未来につながると信じています。

※1 特定の受容体に特異的に結合する物質  
 ※2 分子の立体構造



附属生命医学研究所  
分子遺伝学部門  
近藤 直幸 助教

- 主な受賞・競争的研究費採択歴
- ・2005年 日本生化学会 JB論文賞
- ・2006年 日本学術振興会 特別研究員(DC2)採択
- ・2015年 科学研究費若手研究(B)採択 研究課題「LFA-1接着"時間"制御機構の一分子解析」
- ・2017年 科学研究費若手研究(B)採択 「LFA-1活性化シグナルによる細胞外小胞排出機構の解明」

### 手術手技での“熟練”を科学的に明らかに

#### —先生の研究テーマについて教えてください。

「内視鏡手術操作における技術分析と新規教育方法の開発」です。手術手技では初心者と熟練者の技量に差がありますが、その要因はこれまで科学的に明らかにはされていません。そこで、その技量の差が何によるものなのかを解析しており、2015年には科研費若手研究(B)にも採択されました。研究では熟練者の手の動きを解析し、剥離操作の際の力が働く向き・大きさや、鉗子の先端への力のかけ具合を計測した結果、熟練者と初心者では明確な違いがあることがわかってきました。また、計測結果から割り出した差異の内容を本人に伝える群と伝えない対照群に分けることでそれによる技術向上効果が生まれるかも検証しています。

さらに、モーションキャプチャーを用いて、熟練者が操作をする際の体の動きを記録・分析することにも取り組んでいます。

#### —今後目指していることは。

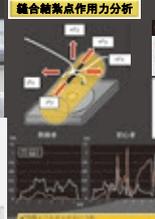
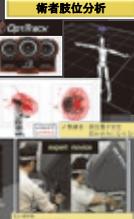
熟練者の技量解析をもとに、初心者でも効率良く技術を身に付けられるトレーニング方法を開発することです。

#### —後輩研究者にメッセージを。

研究には臨床とはまた違った側面があり、アイデアを見つけて形にするという魅力があります。研究者仲間と意見を交換しながら、知恵を絞って研究に取り組むことを楽しんでほしいです。

手術技術教育：技術の定量化

真似による技術習得 ⇒ コツが伝わりにくい  
 ※研究目標：初心者をいかに上達させるか

剥離操作技術分析	鉗合船着点作用力分析	術者体位分析
		



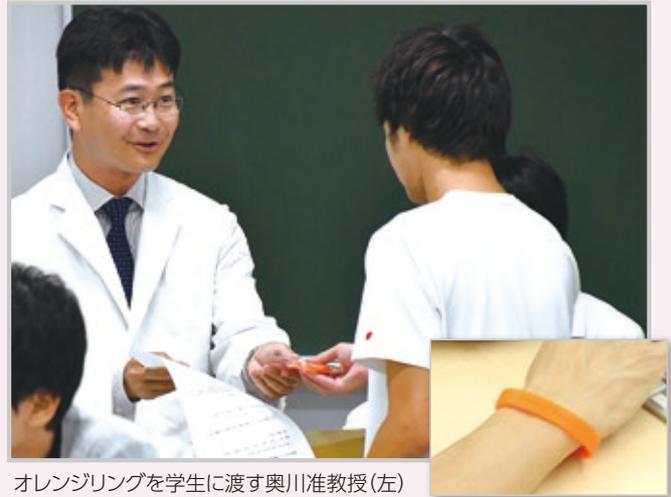
腎泌尿器外科学講座  
吉田 健志 助教

- 主な受賞・競争的研究費採択歴
- ・2014年 第13回関西医科大学医学会賞 講演会 優秀賞
- ・2014年 第5回日本泌尿器内視鏡学会 学会賞
- ・2015年 関西医科大学腎泌尿器外科学講座 涌泉会 大原賞
- ・2015年 関西医科大学 櫻根啓子賞
- ・2015年 第5回日本泌尿器内視鏡学会 阿曾賞
- ・2016年 関西医科大学 教員評価優秀賞
- ・2015年 科学研究費若手研究(B)採択 研究課題「内視鏡下手術操作における技術分析と新規教育方法の開発」

## 認知症サポーター養成講座

9月22日(金)午後1時から、枚方学舎2階第3講義室において「認知症サポーター養成講座」が開催されました。認知症サポーターとは認知症について正しい知識をもち、認知症の人や家族を応援し、だれもが暮らしやすい地域をつくっていくボランティア活動を行う人々のことで、「認知症サポーター養成講座」を受講することで認定されます。本学では3学年の講義の一環として本講座が開催され、113人の学生が講習を受けました。

講師である精神神経科学講座奥川准教授が、認知症サポーター養成制度について説明した後、認知症の原因、治療法、患者への接し方などについての講義を行いました。講義終了後、参加した学生全員に認知症サポーターの証である「オレンジリング」と「認知症サポーター認定証」が奥川准教授から手渡されました。



オレンジリングを学生に渡す奥川准教授(左)

## 大学院学位記授与式

9月26日(火)午後3時30分から枚方学舎4階中会議室において、友田幸一学長をはじめ伊藤誠二副学長、中邨智之大学院教務部長らが列席し、「平成29年度9月学位記授与式」が挙行されました。新たに誕生した医学博士13名のうち、当日出席した12名に友田学長から学位記が授与されました。その後の学長告示では学位取得者の努力に対するねぎらいの言葉が述べられ「学位取得の経験を糧にして更なる研究の向上に努め、また後進にも研究の魅力を伝えてほしい」とのエールが贈られました。



授与された医学博士学位記を手にする修了生と列席者

## 学長賞授与式 (平成28年度分)

8月31日(木)正午から枚方学舎4階中会議室において、「平成28年度分学長賞授与式」が挙行されました。今回は、昨年8月に開催された第68回西日本医科学生総合体育大会の水泳競技女子100m背泳ぎで見事優勝、同50mでも2位の成績を修めた水泳部3学年天野晶望さんに、友田幸一学長から表彰状と副賞が手渡されました。

その後、友田学長は「これからも文武両道に励んで欲しい」と天野さんの栄誉をたたえ、列席した伊藤誠二副学長(医化学講座教授)や福永幹彦学生部長(心療内科学講座教授)、野村昌作副学長・水泳部顧問(内科学第一講座教授)、中川淳学生部副部長(英語教室教授)とともに、記念撮影を行いました。



記念写真に収まる天野さん(前列中央)と列席者

病 院

## 第11回災害訓練・平成29年度大規模地震時医療活動訓練実施

7月29日(土)午前9時から附属病院において、「午前8時50分に南海トラフを震源とする最大震度7の地震が発生」との想定で、附属病院第11回災害訓練(附属病院訓練)が実施されました。附属病院訓練には、医師や看護師ら約200名、附属看護専門学校生が参加。随時参集してきたスタッフがそれぞれのゾーンでトリアージや治療、情報伝達、備品の調達などに真剣な面持ちで取り組みました。

また同日午前8時30分からは枚方学舎各所・総合医療センターにおいて、国の平成29年度総合防災訓練大綱に基づく内閣府主催の平成29年度大規模地震時医療活動訓練(内閣府訓練)が実施されました。内閣府訓練では同様の発災2日目を想定。政府関係機関、消防等機関などと連携した訓練に、附属病院内DMAT(災害派遣医

療チーム)隊員約10名と医学部生が参加しました。総合医療センターでは、同センターから精神疾患患者5名を大阪府立精神医療センターに転院する搬送訓練も行われました。



内閣府訓練時本部へ訪れる各地のDMAT隊

附属病院

## 臨床検査体験セミナー・オープンラボ開催

8月19日(土)午後2時から附属病院臨床検査部他において、臨床検査体験セミナー「オープンラボ」が開催されました。これは、医師の診断や治療に重要な役割を果たしている、血液や尿、細胞組織、細菌、心音などの検査(臨床検査)を体験してもらうイベント。将来的な職業選択や自己実現の助けとしてもらうため、中学生と高校生を対象に企画されました。

この日は15名の中高生が参加し、同病院臨床検査部見学や業務紹介の後、枚方学舎1階実習室1Bで血液検査、生理機能検査、超音波検査業務などを体験しました。



記念撮影に収まる参加者と、運営スタッフ

附属病院

## がん治療と職業生活の両立支援セミナー開催

7月1日(土)午後2時30分から附属病院13階講堂において「がん治療と職業生活の両立支援セミナー」が開催され、52名が参加しました。

附属病院がんセンター診療支援部門杉江知治部門長による挨拶の後、愛知県がんセンター中央病院岩田広治副院長が「がん治療と就労の両立～東海地区での取組について～」をテーマに、就労支援における様々な視点での取り組みを講演。

続いて杉江部門長の司会の下、岩田氏、ハローワーク枚方職業相談部門統括職業指導官藤本博一氏、大阪府社会保険労務士会がん就労等支援特別部会部会長特定社会保険労務士関孝子氏、附属病院地域医療連携部在宅看護専門看護師福岡志野看護師長、同がん相談支援相談員高木菜美MSW(医療ソーシャルワーカー)によるパネルデ

ィスカッションが行われました。

ディスカッションは各分野の専門家が一堂に会した場となり、充実した内容の専門的な会話が交わされ、集まった参加者はメモを取りながら熱心に聞き入っていました。



パネルディスカッションの参加者

附属病院

## サマーコンサート

7月15日(土)午後2時30分から、附属病院2階エントランスホールにおいて院内サマーコンサートが開催され、入院患者さんや外来患者さんら約250人が集まりました。

同コンサートは開院時から毎年開催しているもので、本年度も本学混声合唱団コールクライスが参加。出演した学生の他、ボランティアとして患者搬送などに従事した看護師が浴衣を着用し、夏らしい雰囲気を演出しました。

コンサートでは本学学歌「のぞみ」をはじめ、「花束を君に」や「上を向いて歩こう」など8曲を披露。参加者は手拍子をし、一緒に歌を口ずさむなど、会場が一体となって院内に響く伸びやかな歌声を楽しみました。

来場者からは「大変感動し、心が洗われました。定期的で開催してほしい」などの感想が聞かれ、単調な入院生活の中でも、思い出に残るひとときとなりました。



浴衣姿で歌声を披露する本学「コールクライス」

附属病院

## 「一日看護体験」



入院患者の髪を乾かす参加者

7月28日(金)午前9時から附属病院において、高校生を対象とする一日看護体験が開催されました。これは看護職に対する理解を深めるとともに、看護の明るいイメージづくりを図り、将来の進路選択の参考としてもらうための大阪府の事業。この日は、大阪国際滝井高等学校から26名が参加しました。

参加者は、オリエンテーションや附属病院安本マリ看護副部長から歓迎あいさつを受けた後、DVDを視聴。その後各病棟に分かれて、現場で働く看護師の指示に従い、食事の援助や身支度の援助などの看護業務を体験。普段はできない体験に緊張の面持ちを浮かべていました。

附属病院

## こども病棟で「夏祭り」

8月23日(水)午後6時30分から附属病院5階こども病棟エントランス及びプレイコートにおいて、こども病棟夏祭りが開催され、入院中の子どもたちやその保護者らが参加しました。

この夏祭りは、季節のレクリエーションを行い入院生活において四季を感じ、単調な入院生活にメリハリをつけ楽しんでもらうことや、患児とその家族同士が交流することを目的に、毎年開催されているものです。当日は、風船飛ばしや水鉄砲射的などは屋外にあるプレイコートで、その他の出し物は病棟内で開催されました。

参加者全員での風船飛ばしの後、子どもたちは保護者や浴衣姿の看護師と一緒に輪投げをしたり、似顔絵を描いてもらったりしながら夏祭りを楽しみました。また、今年は初めてサマーサンタがプレゼントを持って夏祭り

に登場し、子どもたちは夏のサンタクロースとの出会いに目を輝かせていました。



サマーサンタのくじに挑戦する子ども

総合医療センター

## 病院機能評価認定

総合医療センターは公益財団法人日本医療機能評価機構の病院機能評価を受審し、下記のとおり認定を受けました。

- 認定番号：JC2188号
- 認定日：2017年(平成29年)7月7日
- バージョン：3rdG:Ver.1.0～
- 認定有効期限：2022年(平成34年)7月6日
- 種別・審査体制区分等：一般病院2(200～499床)(主たる機能)

### 一概要一

病院機能評価は、我が国の病院を対象に日本医療機能評価機構が中立的、科学的・専門的な見地から評価を行うツールです。患者中心の医療の推進、良質な医療の実践、理念達成に向けた組織運営が評価されます。病院機能評価は、各専門領域の知識と経験を有する評価調査者が審査を行います。認定された病院は地域に根差し、安全・安心、信頼と納得の得られる医療サービスを提供すべく、日常的に努力している病院と言えます。現在、全国の約3割の病院が認定を受けており、総合医療センターは2次医療圏等の比較的広い地域において、急性期医療を中心に地域医療を支える基幹の病院に認定されました。

### 一コメント一

関西医大総合医療センター  
 病院長 岩坂 壽二  
 プロジェクトマネージャー  
 一川副浩平教授をリーダー

とし、1,110名の全職員が一丸となり、新病院にふさわしい組織運営と機能を纏うべく取り組みました。その結果、重症部門は最高のS評価を2項目獲得し、B評価はわずか3項目でA評価が84項目と好評価を得ることが出来ました。全職員のきびきびとした対応が非常に心強いものでした。今後とも、「大切な人を受診させたい病院」の真の姿を求めて日々邁進したいと思っています。



総合医療センター

## Take! ABI 2017 in KANSAIが開催

10月1日(日)午前10時から総合医療センター本館エントランスホールにおいて、「Take! ABI 2017 in KANSAI」が開催され、5回目となった今回は過去最多となる412名が参加しました。ABI (ankle brachial index)とは、手と足の血圧差から動脈硬化が起こっていないか、また重症化する可能性がないかを調べる検査で、脳梗塞や心筋梗塞の危険性を測ることができるもの。参加者は測定結果をもとに、医師から説明を受けました。

また、同日正午からは同センター南館2階臨床講堂において市民公開講座を開講。総合医療センター血管外科駒井宏好教授(外科学講座診療教授)が「足の病気が命を守る? 動脈硬化早期発見の重要性」を、同センター健康科学センター久保田真由美健康運動指導士が

「知って得! 元気な血管を保つ運動の秘訣」をそれぞれ講演し、参加した一般市民は興味深く聞き入っていました。



過去最多の参加者を記録した、今年のTake! ABI 2017 in KANSAI

香里病院

## 七夕コンサート開催



コンサートの様子

7月1日(土)午後2時30分から香里病院2階エントランスホールにおいて、香里ヌヴェール学院の中学・高校生による「七夕コンサート」が開催されました。

ハンドベルでの演奏では涼しげな音色が響き渡り、総勢30名に及ぶ合唱ではとてもきれいなハーモニーが奏でられました。この日演奏されたのは、懐かしさを醸し出す「ふるさとの四季」やスタジオジブリの映画主題歌となった「風になる」など。幅広い年齢の方々が楽しめるコンサートとなりました。

## 平成29年度オープンキャンパス開催

7月30日(日)・8月5日(土)・8月6日(日)、いずれも午前10時から牧野キャンパスにおいて、「平成29年度附属看護専門学校オープンキャンパス」が行われました。高校生や社会人、保護者など延べ298名が訪れ、さまざまなプログラムを体験しました。

教員による学校生活・カリキュラム・入学試験・奨学金制度などの概要説明、教職員による入試・カリキュラム・学納金・奨学金の個別相談、在学生による学生フリートーク・キャンパスツアー・技術練習、その他行事のDVD放映、制服の展示、実習施設紹介、入試過去問題展示などが行われました。

また、8月6日(日)は午後から希望者(51名)が枚方学舎と附属病院を見学しました。



入試問題を閲覧する参加者

## 球技大会開催



開をあげる学生

9月22日(金)午前9時15分から、牧野キャンパス体育館において、附属看護専門学校球技大会が開催されました。本大会は附属看護専門学校学校祭「関医祭～楽しもう！羽ばたけ白衣の天使たち～」の一環として開催したもので、2年生と1年生がクラスごとに3チームに分かれ2種目の競技を行いました。

開会式の後、ラジオ体操で体をほぐした学生は、ドッジボール及びバレーボールで白熱した戦いが繰り広げ、各チーム共、熱が入り得点が入るたびに日頃出さない大きな歓声を上げていました。全ての競技終了後に閉会式が行われ、牛嶋百合子教務部長から熱戦を繰り広げた学生にねぎらいの言葉がありました。

## 平成29年度学校祭開催

9月30日(土)午前9時から午前12時まで、牧野キャンパスにおいて、平成29年度附属看護専門学校学校祭が開催されました。今年度は「関医祭～楽しもう！羽ばたけ白衣の天使たち～」をテーマに、教職員並びに近隣の保育園園児など268名が参加して行われました。

第1部は、体育館内で園児を対象にスーパーボールすくいなど10種類のブースを出展また園児向けダンスを披露、参加者はそれぞれのブースで楽しんでいました。

第2部は学生が23グループにわかれてクイズラリーを実施し、第3部は有志によるダンスを披露。本格的な振り付けに場内からは歓声が沸き起こっていました。

## レジナビフェア2017 in大阪



本学ブースの様子

7月2日(日)午前10時からインテックス大阪(大阪市住之江区)1・2号館において、「レジナビフェア2017 in 大阪～臨床研修プログラム～」が開催され、本学もブースを開設しました。当日は約2,000名の来場者があり、本学のブースを訪れた151名に、本学の研修医7名が対応。和やかな雰囲気では話が進み、盛会裏に終わりました。

## 平成30年度初期臨床研修医採用試験

7月21日(金)および8月4日(金)、枚方学舎において「平成30年度初期臨床研修医採用試験」が行われ、附属病院プログラム(41名)、附属病院小児科重点プログラム(2名)、附属病院産婦人科重点プログラム(2名)、総合医療センタープログラム(7名)の募集に対し、本学卒業生および卒業見込み者86名、その他50名から応募がありました。なお、採用者は10月19日(木)午後2時に確定し、本学では3年連続フルマッチ(充足率100%)となりました。

お知らせ



## 矢西助教への助成決定 三井生命厚生財団主催第50回「医学研究助成」

腎泌尿器外科学講座矢西正明助教が、三井生命厚生財団主催第50回「医学研究助成」の対象となった20件のうちの1件に選ばれ、9月21日(木)霞が関ビルディング(東京都千代田区)での贈呈式にて、助成金が贈呈されました。

### ■矢西助教コメント

受賞に至った研究内容は腎移植レシピエントのサルコペニアに関するものです。腎移植患者は末期腎不全を経ているだけでなく、免疫抑制剤の影響を長期に受けることからサルコペニアの頻度が高いとされています。現在腎移植の分野でも非常に注目を集めており、当院での研究も大変いい評価を頂いております。この研究は健康科学センターの協力なしには行えないものであり、この場を借りまして健康科学センターの木村教授をはじめ多くのスタッフの方々に深く感謝申し上げます。



## 富山助教発表論文「PLOS ONE」TOP25% Most Citedに確定

内科学第三講座富山尚助教が発表した論文が『PLOS ONE』のTop 25% Most Cited論文に確定しました。

### ■富山助教コメント

この度、私が発表しました“Antigen-Specific Suppression and Immunological Synapse Formation by Regulatory T Cells Require the Mst1 Kinase”がPLOS ONEのTop 25% Most Cited論文に選ばれ大変嬉しく思っています。これもひとえに木梨教授、岡崎教授、指導教官である分子遺伝学植田講師、近藤助教、新潟大学片貝教授のご指導の賜物であり、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。この論文では制御性T細胞による抗原特異的な免疫抑制は“静的”ではなく“動的”な免疫シナプスを形成することを今までの定説を覆して世界で初めて明らかにし、さらにこの過程にはMst1によるLFA-1接着制御が必要であることを明らかにしました。この論文が制御性T細胞による抑制機構の解明の手掛かりとなることを期待しています。





本学完全監修 書籍刊行!

10月18日発売

「実は危ないその症状  
自分で探す病気のサイン」

本学完全監修の書籍「自分で探す病気のサイン」を刊行しました。気になる症状から病気がわかる「疾患ナビ」を掲載。重大疾患、よくある疾患、意外な疾患など全68疾患の症状、原因、治療法について、本学在籍の現役医師が解説します。さらに、最新の医療現場がわかる「先端医療図鑑」や「大学病院の活用法」なども掲載。保存版の1冊です。

21症状掲載

全身がだるい／発熱が続く／体重の急な増減／体の一部、全身がむくむ／眠れない、寝付けない／頭が痛い／めまい・ふらつき／手足が動きにくい、歩きにくい／胸痛・動悸／咳・痰が止まらない／呼吸しにくい、息切れがする／吐きけ・嘔吐／お腹が痛い／便秘異常／腰や背中の痛みが続く／血尿・頻尿、尿が出にくい／かゆみと発疹／ものが見えにくい、歪んで見える／耳・鼻・のどの症状／女性に特有の症状／子どもに特有の症状

毎日新聞出版 定価：本体1080円（税込）  
各地の書店等でお求めいただけます。



関西医大 × りそな銀行 @ 枚方 T-SITE

市民向け医療健康セミナー

無料イベント開催

11月・12月

本学監修  
書籍(上記参照)  
プレゼント

本学とりそな銀行がタッグを組み、無料イベント「医療・健康セミナー」を開催します。各回定員30名です。お早めにお申込みください。

第一回

日時：11月18日（土）午後2時～午後3時  
健康科学教室 木村 穰 教授  
テーマ：専門医が明かす間違いだらけの健康情報

第二回

日時：12月16日（土）午後2時～午後3時  
内科学第一講座 宮良 高維 診療教授  
テーマ：その方法で大丈夫？インフルエンザ予防

- 会場：枚方 T-SITE 7 階りそな銀行枚方支店 セブンデイズプラザ  
(京阪電車枚方市駅南口 直結徒歩約1分)
- お申込み方法：右記 QR コード、または下記 URL からお申込みページへアクセス
- お申込みページ：<https://goo.gl/forms/wJNsvRfZaEIFQpS53>

平成30年1月～7月にも、シリーズで毎月開催予定です。

講演  
テーマ  
(予定)

「太りにすぎに注意ー肥満と糖尿病ー」「若くても、骨粗しょう症」「立つ・座る・歩くメカニズム」  
「前立腺がん：早く見つければ怖くない」「胃・大腸カメラ、こんな症状の時にオススメします」  
「マンモグラフィ検査のススメ」「怖い不整脈と気にしなくてよい不整脈」「意外に多い肺のパンク：気胸」  
「子どものアレルギーについて」  
※詳細は本学ウェブサイトなどで、追ってお知らせする予定です。



関西医科大学広報 vol.38 (2017年7月31日発行)、p28掲載の附属看護専門学校一般入学試験(後期)の募集人員に誤りがありました。  
(誤) 10名 → (正) 5名 お詫びして訂正いたします。

2017年6月～9月、本学が主催および事務局を務めた主な学会、同期間中の学会賞受賞者を紹介します。

## 学会主催報告

### 第34回日本眼循環学会

■会期 2017年7月22日～7月23日 ■場所 大阪国際会議場

血管撮影が可能な光干渉層計などの新しい診断機器や分子標的薬による治療の進歩に伴い、眼循環の領域は眼科学の中でも最もホットな領域となっています。今回、日本眼循環学会の理事を務める高橋が会長となり第34回眼循環学会を大阪で主催しました。シンガポールからの高名な演者による招待講演、学術賞受賞記念講演、診断と治療についての2つのシンポジウムや教育セミナーなどの特別プログラムを企画しましたところ、一般口演46題、学術展示27題の多数の演題応募と過去最高の参加者(755名)を集め、大変盛会でした。

【第34回日本眼循環学会会長/眼科学講座 高橋 寛二】



### 第4回日本HTLV-1学会学術集会

■会期 2017年8月18日～8月20日 ■場所 関西医科大学校方学舎

悪性の白血病 ATLや慢性・進行性の神経疾患 HAM/TSPの原因ウイルス HTLV-1の感染者は本邦では100万人以上いることから、これら疾患の日本での最初の報告以来、研究者、臨床医、医療関係者や患者・感染キャリアが協力して発症予防と治療法確立に取り組んで来ました。4年前にこの活動を学会として発展させ、今回、全国で二番目に多い感染者を有する関西地区として初めて学術集会を開催し、3日間、活発な議論を交わしました。

【第4回日本HTLV-1学会学術集会会長/微生物学講座 藤澤 順一】



### 第34回医学情報サービス研究大会

■会期 2017年8月26日～8月27日 ■場所 関西医科大学校方学舎

第34回医学情報サービス研究大会を関西医科大学にて開催いたしました。本学会は医学情報・医療情報を提供する実務者のための学会です。システムティックレビューのすすめ方、著名人のがん報道のあり方、研究データの管理やデータベースの構築・使用実例など、有意義な発表と質疑がなされました。

【第34回医学情報サービス研究大会実行委員長/解剖学第一講座 山田 久夫】



### 第1回日本脳神経外科認知症学会学術総会

■会期 2017年6月24日 ■場所 TKP ガーデンシティ大阪梅田

認知症は、国民病として増加していますが、医師の数が極めて少なく対応できていません。脳外科医は総合神経医であり、初期診療に対応できる医師として学会を設立しました。2日目は、脳神経外科学会との共催で、“もの忘れ外来診療のためのエッセンシャル”講習会を開催し、現職教授を含む指導的医師が参加しました。修了書を発行し、脳神経外科医が認知症診療に携わっていることを国民の皆さんに示していただけることが始まりました。

【第1回日本脳神経外科認知症学会学術総会会長/河本 圭司 名誉教授】

## 学会賞受賞情報

#### 優秀演題賞

解剖学第一講座 小池 太郎 助教

■テーマ 安価におこなえるSEMを用いた  
三次元組織観察

■授与学会 第49回日本臨床分子形態学会



#### ポスター優秀賞

放射線科学講座 河野 由美子 助教

■テーマ 123I-FP-CIT SPECT (DaTSCAN) と  
neuromelanin MRI の定量的評価の比較研究

■授与学会 第2回 Advanced Medical Imaging 研究会  
(SAMI 2017)



#### 肥満症学「適塾」Award

附属病院健康科学センター

上西 祐輝 臨床心理士

■テーマ 肥満患者に対する減量プログラムにおける  
目標減量達成と心理的特性の変化との関係

■授与学会 第38回日本肥満学会





## 教職員メディア情報

新聞・雑誌などの取材を受け記事が掲載された、あるいはテレビ・ラジオなどに出演した教職員ほかを紹介しします。(主に平成29年7月1日～9月30日 ※判明分の目)

健康科学教室 木村 穰 教授	朝日放送「おはよう朝日です」 (7月3日)	運動中に起こる心臓の突然死(運動誘発性不整脈や心室細動)が取り上げられたコーナーに木村教授が出演。発生のメカニズムや原因、気をつけるべきポイントを解説しました。また、附属病院健康科学センターが紹介され、運動負荷試験の様子や胸骨圧迫の方法、AEDの使い方が放送されました。
眼科学講座 高橋 寛二 教授	毎日新聞 朝刊 (7月29日)	7月1日(土)に開催された「第10回目の健康講座」で、高橋教授が「網膜の病気について」をテーマに基調講演を行い、網膜剥離や糖尿病型網膜症、加齢黄斑変性の原因と治療法などを解説したことが紹介されました。
附属病院 臨床検査部	薬事日報 (8月2日)	8月19日(土)に開催された中学生・高校生対象の臨床検査体験セミナー「オープンラボ」が取り上げられ、イベント内容が紹介されました。
腎泌尿器外科学講座 松田 公志 教授	Medical Tribune (8月6日更新)	リレーエッセイ「時間の風景」に、自身の腹腔鏡手術との出会いから腹腔鏡技術認定制度が作られた経緯と現状、そして外科手術における術者の動きを分析する試みに関する松田教授のエッセイ「外科医の技術を評価分析する」が掲載されました。
総合医療センター 内科学第二講座 高木 雅彦 診療教授	毎日新聞 朝刊 (8月27日)	新たに開発されたコードのない不整脈治療用ペースメーカーが紹介され、総合医療センター不整脈治療センターにおいて9月上旬、このペースメーカーが70代女性に埋め込まれること、及び高木診療教授の「これまでペースメーカーを付けられなかった人にも対応できるようになる」とのコメントが紹介されました。
総合医療センター	毎日新聞 朝刊 (8月29日)	10月1日(日)開催の「TAKE! ABI 2017 in KANSAI」について取り上げられ、開催概要や申し込み方法などが掲載されました。
精神神経科学講座 奥川 学 准教授	読売テレビ「かんさい情報ネット ten.」 (9月4日)	連続殺人事件の刑事裁判が取り上げられ、奥川准教授が出演。争点となっている被告人の認知症の程度に関し、現在の症状や進行状況などを解説しました。
内科学第二講座 岩坂 潤二 診療講師	読売新聞 夕刊 (9月7日)	岩坂診療講師が普及に取り組んでいる「木剣体操エクササイズ」が取り上げられ、高齢者に指導する様子が紹介され、チャンバラ感覚で楽しく体を鍛えられる同エクササイズについての「体の代謝を整える効果も期待できる」とのコメントが掲載されました。
関西医科大学 友田 幸一 学長	日本経済新聞 朝刊 (9月13日)	大学間の連携に関する記事の中で、関西公立私立医科大学・医学部連合の8医大・医学部が共同で大学院を設ける構想の狙いについて、友田幸一学長の「各大学が持つ膨大な医療データを共有し、多くの人に身近な分野の充実を図る」とのコメントが掲載されました。
小児科学講座	Asa-JO (9月18日更新)	健康フードとして注目を集めている野菜「ビーツ」に関する記事の中で、ビーツに含まれる「ラフィノース」摂取の効果を調べた本学小児科と森永乳業株式会社栄養科学研究所の実験結果レポートが取り上げられました。
耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座 小林 良樹 講師	テレビ大阪「ニュースリアル」 (9月19日)	アレルギーに関する特集で、耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座小林講師が出演。アレルギー検査を受検したキャスターに結果を解説する様子や、国が検討しているアレルギー疾患拠点病院制度に関するコメントが放送されました。
救急医学講座 中森 靖 診療教授	読売新聞 夕刊 (9月19日)	重症患者を移動させることなく診断から治療まで行える「ハイブリッドER」の全国的な広がりが取り上げられ、中森診療教授の「従来は医師の勘や経験に基づくことも多かったが、ハイブリッドERでは画像に基づいた正確な治療ができる。さらに多くの施設に広がってほしい」とのコメントが掲載されました。
関西医科大学	神戸新聞・東奥日報 (9月20日) 毎日新聞・産経新聞 (9月26日)ほか	本学を含む阪神地区の7大学が連携し、一人一人の患者さんの体質にあわせたがん医療を提供できる専門人材の養成を目的とした「7大学連携個別化がん医療実践者養成プラン」について協定を結び、初会合と調印式を行ったことが紹介されました。

※このコーナーは主要な放送局、新聞、雑誌の掲載情報が対象ですが、研究成果に関する記事は、その限りではありません。

## 編集後記

看護学部・看護学研究科の設置認可や牧野講堂(武道館)の新築工事など、来年90周年を迎える本学の様々な“動き出し”を取り上げました。2010年に発刊したこの広報誌も今回でvol.39(さんきゅう)。7年間、毎回お忙しい中取材に協力していただいた皆様、寄稿していただいた皆様に今一度感謝を申し上げます。次回発行は年明け、節目のvol.40となります。これからも本学の様々な“動き”を見逃さないように取り上げていきます。(は)

## 関西医科大学広報 Vol.39

発行 学校法人 関西医科大学

編集 広報戦略室

〒573-1010 大阪府枚方市新町2-5-1 TEL 072-804-0101(代表)  
FAX 072-804-2547

http://www.kmu.ac.jp/

E-mail: kmuinfo@hirakata.kmu.ac.jp

平成29年10月31日(火)発行